

発 米 よ 第 8 号
平成 27 年 7 月 24 日

上淀白鳳の丘展示館
(株) 白 鳳
代表取締役 田 口 勝 蔵 様

米子市長 野 坂 康 夫

平成 26 年度「上淀白鳳の丘展示館」指定管理者業務評価書

施設名	上淀白鳳の丘展示館
施設所管課	淀江支所よどえまちづくり推進室
指定管理者名	(株) 白 鳳
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日 (4 年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

開館から数年が経過して入込数が落ちてきており、周辺施設等への送客要請や、タイアップイベントの企画、彼岸花の里プロジェクト等、集客に努められている。

【第三者評価】

適切に運営されている。

彼岸花の里プロジェクト事業では、歴史にあまり関心のない市民の参加も期待でき、継続した来訪に繋がる取組みとして評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

継続して関心を寄せていただく企画等を実施し、引き続いて集客に努めてください。

【第三者評価】

入館者が減少傾向にあり、テーマを設けた企画展や、伯耆古代の丘公園を活用した体験学習事業、歴史考古以外の要素と組み合わせた事業など多様な事業展開による集客に努めてください。

平成26年度下期「上淀白鳳の丘展示館」モニタリング評価表〔平成27年8月〕

施設名	上淀白鳳の丘展示館	
施設所管課	淀江支所よどえまちづくり推進室	
指定管理者名	団体名	株式会社 白鳳
	所在地	米子市淀江町福岡1548-1
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する	
主な実施事業	上淀白鳳の丘展示館の運営	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	聞き取り調査
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	聞き取り調査
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料及び聞き取り調査
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料確認
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料及び聞き取り調査
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料及び立ち入り調査
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料及び立ち入り調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料及び立ち入り調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料及び台帳確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	聞き取り調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	聞き取り調査
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料及び聞き取り調査

2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立ち入り及び聞き取り調査
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立ち入り及び聞き取り調査
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	資料及び聞き取り調査
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料及び聞き取り調査

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>開館から数年が経過して入込数が落ちてきており、周辺施設等への送客要請や、タイアップイベントの企画、彼岸花の里プロジェクト等、集客に努めている。</p>	<p>合計点 60点/100点 ×100=60点 平均点 3点</p>
---	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成26年4～平成27年3月〕 A	前年度〔平成25年4～平成26年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	308	308	0、100.0 (%)	
施設利用者数	3,783	5,216	-1,433、72.5 (%)	オープンからの経年により来館者が減少したため。
施設稼働率	100.0	100.0	0、100.0 (%)	
事業開催数	218	168	50、130.0 (%)	現地案内希望の増

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成26年4～平成27年3月〕 A	前年度〔平成25年4～平成26年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	706,528	898,362	-191,834、78.6 (%)	オープンからの経年により来館者が減少したため。
指定管理料	8,335,184	7,238,095	1,097,089、115.2 (%)	
自主事業収入	92,556	127,333	-34,777、72.7 (%)	
			、 (%)	
			、 (%)	
			、 (%)	
その他雑収入	5,947	35,885	-29,938、16.6 (%)	ガイド料収入等
合計	9,140,215	8,299,675		

(2) 支出

項目	本年度〔平成26年4～平成27年3月〕 A	前年度〔平成25年4～平成26年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	6,871,418	6,144,554	726,864、111.8 (%)	
消耗品費	247,299	203,482	43,817、121.5 (%)	在庫購入時期による
光熱水費	1,067,943	1,139,167	-71,224、93.7 (%)	
印刷費	229,531	79,800	149,731、287.6 (%)	在庫発注時期による
広告宣伝費	40,837	38,324	2,513、106.6 (%)	
業務委託費	400,686	317,200	83,486、126.3 (%)	一部除草業務を関係団体へ委託したため
その他	273,728	335,892	-62,164、81.5 (%)	
合計	9,131,442	8,258,419		

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成26年4～平成27年3月〕 A	前年度〔平成25年4～平成26年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	58,690	41,256	17,434、142.3 (%)	
②利用料金比率	0.077	0.108	-0.031、71.3 (%)	
③人件費比率	0.753	0.744	0.009、101.2 (%)	
④外部委託費比率	0.044	0.038	-0.006、115.8 (%)	
⑤利用者当たり管理コスト	2,413.8	1,583.3	817.3、151.6 (%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	2,203.3	1,387.7	815.6、158.8 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、逆に費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
①自己資本比率	46.3	48.5	48.0	48.1	46.8	
②流動比率	116.2	139.1	118.9	116.4	107.0	
③固定長期適合率	98.3	95.7	97.4	97.1	98.6	
④総資産経常利益率	-1.8	0.3	-2.4	-0.6	-4.9	
評価	消費増税に伴う客数減など厳しい経営環境において、合理的経営の努めている					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

展示物や職員による展示の解説、史跡の現地案内を評価するものが多かった
展示物の入れ替えを要望するものがあった